



## 2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月5日

上場会社名 東海ソフト株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 4430 URL <https://www.tokai-soft.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 伊藤 秀和  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO (氏名) 山下 一浩 TEL 052-300-8330  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期第1四半期の業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	2,021	12.0	225	23.2	227	24.1	151	23.6
2023年5月期第1四半期	1,804	7.9	183	23.4	183	23.7	122	22.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	31.74	—
2023年5月期第1四半期	25.76	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	7,383	4,707	63.7
2023年5月期	7,786	4,696	60.3

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 4,707百万円 2023年5月期 4,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年5月期の業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	4.9	899	4.0	900	4.3	595	△4.6	124.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	4,920,300株	2023年5月期	4,920,300株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	159,166株	2023年5月期	159,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	4,761,134株	2023年5月期1Q	4,744,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症への対応が第5類へ移行し、経済社会活動の正常化に向けた動きが更に強まりました。一方で、ロシアによるウクライナ侵襲長期化による原材料・エネルギー価格の高騰が輸入物価や消費者物価に影響を与え、世界的にはインフレ抑制のための金融引き締めに舵を切らる中での海外景気の動向及び日本経済への影響に対し引き続き注視する必要があります。

当第1四半期累計期間における当社の属するソフトウェア業界は、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた事業構造の変革や拡大、競争力の強化を狙う製品開発や設備投資のデジタル化(DX)の動きは継続し、SDGsの関心の高まりと合わせて今後も大きく増加する傾向にあり、関連する当社事業分野におけるソフトウェア開発に係る需要についても持続的拡大が期待されます。当社は今後も経営を取り巻く環境の変化を注視しながら、国内企業のシステム投資意欲の高まりを商機と捉え事業の拡大を目指して参ります。

当第1四半期累計期間における各事業分野の事業の状況と取り組みについて、以下に記載いたします。

1) 組込み関連事業につきましては、大手自動車メーカーが掲げるソフトウェアファーストの推進や国際的なカーボンニュートラルの流れを受けて、車載向け組込み関連開発の需要は引き続き堅調に推移しております。今後もCASE(繋がる車・自動運転・カーシェア・電動化)分野を中心に更なるスキル習得と開発体制強化を進め、主要顧客の開発計画や予算の執行状況等に十分な注意を払いながら業績拡大を目指して参ります。民生・産業機器に係る組込み関連開発においては、企業の中長期の競争力の要である製品力強化を目的とする製品開発・改良に係る開発需要は回復し、順調に売上を伸ばすことができました。民生・産業機器に係る組込み関連開発につきましても、顧客の開発投資の動向に十分な注意を払いながら、開発体制を強化し業績拡大を目指して参ります。

2) 製造・流通及び業務システム関連事業につきましては、国内製造業・物流業の競争力強化や業務効率化を目的とした事業のデジタル化のためのシステム投資は継続して活発な状況にあり、当該関連開発の売上は順調に推移いたしました。今後は、事業のデジタル化とSDGsの関心の高まりによる企業の取り組みは更に加速し、加えて本事業分野の製品開発においても競争力の強化を目的としたソフトウェアファーストの考え方が浸透すると思われま。当社は現在の事業環境を商機と捉え、DX支援ソリューション「+FORCE」の活用等、提案活動の強化と、当該関連開発の開発体制の強化と集中により、業績の拡大を目指して参ります。

3) 金融・公共関連事業につきましては、引き続き公共関連開発を一次請けする国内大手SIerと当社の良好な関係を軸に、大型案件の機能強化や改修を積極的に受注したことにより、開発案件の売上は堅調に推移しました。今後は既開発案件の改修・改造に加え、2021年9月に新設されたデジタル庁が推進する「行政のデジタル化(デジタル・ガバメント実行計画等)」の関連案件を視野に、顧客やパートナー企業との信頼関係を築きながら安定的・継続的な受注・売上を確保して参ります。

4) 全社的取り組みにつきましては、品質管理に関して、引き続き手法の進化と体制強化により、トラブルの再発防止・未然防止に努めたことで、収益面に対して一定の効果が得られました。引き続き品質管理に注力しながら更なる生産性向上と収益面の改善に努めて参ります。また、ソフトウェア業界の明るい見通し一方で懸念されているのがIT人材の不足であり、今後ますます深刻化すると言われております。労働集約型の産業であるソフトウェア業にとって人材の育成と確保は不可欠であり、当社では人材を資本と捉え、成長分野への人材シフトや事業環境の変化・新しい技術の流れへの対応を目的とした開発者のリスクリング等、教育投資を強化、また、人材確保のための新卒・経験者採用やM&Aに対する投資強化、パートナー企業との関係強化を進めて参ります。

なお、当社はソフトウェア開発事業の単一セグメントであるため、当社事業区分別の経営成績について、以下に記載いたします。

#### <組込み関連事業>

事業環境は引き続き堅調に推移している中、民生・産業機器に係る組込み関連開発において製品開発・改良に係る開発需要が回復傾向にあり、組込み関連事業の売上高は、667,432千円(前年同四半期比6.0%増)となりました。

#### <製造・流通及び業務システム関連事業>

国内の製造・流通業における設備投資や関連する製造関連業務システム開発は、引き続きメーカーを中心とした積極投資により堅調な状況を維持し、製造・流通及び業務システム関連事業の売上高は、1,045,122千円(前年同四半期比16.7%増)となりました。

#### <金融・公共関連事業>

公共関連開発に係る受注及び売上は継続して堅調を維持し、受注・開発体制も適切に対応できた結果、金融・公共関連事業の売上高は、308,576千円(前年同四半期比10.4%増)となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高2,021,130千円(前年同四半期比12.0%増)、営業利益225,678千円(前年同四半期比23.2%増)、経常利益227,382千円(前年同四半期比24.1%増)、四半期純利益151,118千円(前年同四半期比23.6%増)となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ402,260千円減少の7,383,940千円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が180,579千円増加した一方、現金及び預金が409,176千円減少、電子記録債権が54,497千円減少、繰延税金資産が75,113千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ412,516千円減少の2,676,760千円となりました。これは主に、賞与引当金が203,783千円増加した一方、未払法人税等が103,638千円減少、その他に含めて表示している未払費用が461,459千円減少、未払金が39,339千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ10,255千円増加の4,707,180千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が151,118千円増加した一方、配当金の支払いにより利益剰余金が142,834千円減少したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年7月14日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,475,549	1,066,373
受取手形、売掛金及び契約資産	1,758,062	1,938,642
電子記録債権	202,253	147,755
商品	115	—
仕掛品	15,776	22,132
原材料及び貯蔵品	17,640	14,572
その他	105,238	70,007
流動資産合計	3,574,637	3,259,483
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,696,000	1,676,690
土地	1,805,219	1,805,219
その他（純額）	76,876	84,787
有形固定資産合計	3,578,096	3,566,696
無形固定資産		
無形固定資産	79,703	75,306
投資その他の資産		
繰延税金資産	243,366	168,253
その他	310,397	314,200
投資その他の資産合計	553,764	482,454
固定資産合計	4,211,563	4,124,456
資産合計	7,786,201	7,383,940

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	242,914	240,540
1年内返済予定の長期借入金	329,580	329,580
未払法人税等	118,285	14,647
賞与引当金	—	203,783
製品保証引当金	2,243	1,730
受注損失引当金	288	625
その他	833,722	415,773
流動負債合計	1,527,035	1,206,680
固定負債		
長期借入金	1,057,159	974,764
退職給付引当金	366,223	357,425
資産除去債務	31,408	31,458
その他	107,449	106,430
固定負債合計	1,562,241	1,470,079
負債合計	3,089,276	2,676,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,583	826,583
資本剰余金	943,072	943,072
利益剰余金	3,017,703	3,025,988
自己株式	△152,915	△152,915
株主資本合計	4,634,445	4,642,730
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62,479	64,450
評価・換算差額等合計	62,479	64,450
純資産合計	4,696,924	4,707,180
負債純資産合計	7,786,201	7,383,940

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	1,804,633	2,021,130
売上原価	1,372,091	1,522,823
売上総利益	432,542	498,307
販売費及び一般管理費	249,341	272,628
営業利益	183,200	225,678
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1,391	2,442
受取手数料	282	287
その他	158	362
営業外収益合計	1,833	3,094
営業外費用		
支払利息	1,779	1,389
その他	3	—
営業外費用合計	1,782	1,389
経常利益	183,252	227,382
税引前四半期純利益	183,252	227,382
法人税、住民税及び事業税	2,099	2,019
法人税等調整額	58,903	74,244
法人税等合計	61,002	76,264
四半期純利益	122,249	151,118



（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、ソフトウェア開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。